

令和6年度第1回小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 視察結果

実施日	令和6年4月3日(水)
時間	午前9:00から10:00まで
内容	陣屋橋から開始し、平右衛門橋で終了した。 整備実施区間・・・「サクラの生育状況」・「伐採樹木の管理状況」・「被圧樹木の有無」・「上水堤の植生状況」 その他・・・歩道及び緑地帯の現況確認
参加者	委員会(亀山委員、椎名委員、伊東委員、小野委員) 小金井市(生涯学習課、環境政策課、道路管理課) 東京都教育庁(地域教育支援部) 東京都水道局(経理部、境浄水場)
オブザーバー	武蔵野市(生涯学習スポーツ課) 小平市(文化スポーツ課) 市民団体(名勝小金井桜の会)
委員会所見	<p>【陣屋橋～平右衛門橋間】 (平成29～令和元年度整備済み)</p> <p>サクラの生育状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備事業において補植した桜は全体的には良好に生長している。 ・枝が増えすぎている桜が見受けられ、良好な生長のためにも適切な剪定が必要である。 ・五日市街道側の桜で枝の越境や腐食等が激しい桜が見受けられ、安全管理上対応が必要ではないか。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桜の日照を遮っていたケヤキを適切に伐採したことで、全体的に順調に生育している。 ・都立農業高校の生徒の手で植樹した若木は幹回りをネットで覆っている。草刈りの際に草刈機の刃で根元が傷つくのを防ぐ効果がある。 ・草刈りが適切に実施されており、法面の状況をよく見る事ができた。 ・平右衛門橋付近の法面崩壊が深刻であり、対策が急務であると考える。 ・全体的には、整備事業の成果は着実に出てきていると考えるが、これが終着点、ということは決してない。今後もより一層の取組が不可欠である。 ・「名勝」は桜だけではなく、周囲の景観も含めての「名勝」なので、桜のみならず、景観を形作る周辺の草本も適切に管理して欲しい。 ・令和6年度は、名勝指定100周年の年でもあることから、これを1つの契機に情報発信をより一層強化すべきである。